

新型コロナウイルス感染症対策

神戸医療産業都市発

自動PCR検査ロボットシステム等の 開発・社会実装支援について



神戸市



株式会社メディカロイド

2020年6月3日 臨時会見

感染警戒期におけるPCR検査体制の必要性



フェーズ2においては感染拡大の兆しを
早期に把握することが特に重要

十分なPCR検査体制の確保が必要

PCR検査拡充に向けた課題



ロボットシステム①

System1

検体採取ロボットシステム

課題

- ・ 検体採取時の飛沫や搬送時の感染リスク
- ・ 防護服等の不足

機器
内容

遠隔操作によりロボットが検体採取等を実施

効果

医療従事者の安全確保

ロボットシステム②

System 2

自動PCR検査ロボットシステム

課題

- ・ 技術力の高い検査員の確保
- ・ 検査時の感染リスク

機器
内容

手作業による検査をロボットにより自動化

効果

検査技術の習熟の補完が可能
検査員の安全確保

PCR検査体制の更なる拡充

行政
検査



環境保健研究所

最大
142
検体

官民連携による
民間検査機関



最大
100
検体

病院
・
医師会



最大
220
検体

ロボット
システムの
導入により

大きく
拡充が
可能

ロボットシステム③

System 3

見守り・ケアネットワークシステム

課題

・病院、宿泊療養施設における患者等との接触による感染リスク

機器
内容

コミュニケーション機器を装備した移動型ロボットにより食事や薬の搬送、検温等のバイタル測定を実施

効果

医師や看護スタッフの安全確保、労力削減

神戸市とメディカロイドの役割

■ メディカロイド Medicaroid

ロボットシステムの **設計** **製作** **評価**

■ 神戸市

病院、宿泊療養施設等との調整

神戸医療産業都市推進機構のコーディネーターによる伴走支援

開発経費等に対する財政支援

**神戸医療産業都市発の新技术により、
技術の習熟の補完や感染リスクの低減など
医療・検査現場の課題を解決し、神戸市、
そして国内外のPCR検査体制の強化に貢献します**

